

腎臓内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 当院での腎代替療法及び各種血液浄化療法に関する基礎的検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・腎臓内科 講師 今田崇裕

《研究の目的》 血液透析療法の治療効果を調査、また各種血液浄化療法の有用性を検討するため。

《研究期間》 倫理審査委員会承認後～2027年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

血液透析及び各種血液浄化療法の治療を受けた患者さんで、2017年1月1日から2026年12月31日の間に血液浄化センターにて治療（検査）を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、臨床所見（年齢、性別、身長、体重、臨床病期、合併症）、血液・尿所見（血液検査、尿検査）、病学的所見（腎生検所見、シャント血管の病理所見）
胸部X線検査、エコー検査、CT検査、MRI検査、心筋シンチグラフィ検査
手術関連（手術の有無、術式など）、併用薬剤、治療反応性・予後
透析用カテーテル（挿入部位、開存期間、感染発症率）
バイタル監視装置から得られた所見（血圧、体温、呼吸数、酸素飽和度、心拍数、心電図、皮膚色）、透析中の指示、処置記録

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

診療情報等は匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 腎臓内科 担当医師 講師 今田崇裕

大阪府枚方市新町2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-2963